

ニュース

【令和3年4月以降の稽古について】

令和3年になってからも休止していた稽古ですが、幹部で話し合っただけで稽古再開についてはもう少し様子を見ようという事になりました。

コロナも少し落ち着いてきている状況ではありますが、変異株が出始めていますし、ワクチンの接種にはもう少し時間も掛かりそうなので、とりあえず3月、4月については今まで通り休みとし、5月の連休後に改めて判断しようということになりました。

稽古再開を楽しみにしていた皆様には申し訳ありませんが、今しばらくお待ち下さい。

会員投稿

吉田さんからの投稿です

コロナ禍の中、道場での稽古はできませんが、その分、考える時間はたっぷりありました。

最近、よく思うことがあります。それは「なぜ武道をやるのか」です。

突き詰めて考えるとそれは「生き延びるため」ではないかと考えています。

コロナだけではありません。世の中では、毎年、大きな災害が起きています。

日本合気道普及連盟本部のある熊本も2016年4月に震災に見舞われ、今なお復興中です。

その他、あおり運転や特殊詐欺等もありますね。

このような中でも、生き延びるためにはどうすればいいのでしょうか？

第1に自分自身の健康な心と体でいること。

冷静な判断のための心、それとそれを支え行動できる体でしょう。

第2に何かあったときに頼りになる人がいること

人は一人では生きられないのは誰でもが知っているでしょうが、いざという時、日頃からの仲の良い人がいるといたないとでは大きな違いでしょう。

第3に日頃から自分の周辺について知っておくこと

どの辺に危険が潜んでいるかを想定しておくことが大事でしょう。

合気道はこれらを修行するために適した武道とは思いませんか？

- ・合気道で体を動かすことで体力そして体の柔軟性を向上させることができます。
- ・体捌きや受け身は、それだけで自分の体を守る術（すべ）を身に着けることができます。
- ・余分な力を抜いて気持ちを落ち着かせて技を施すことは冷静に行動することにつながります。
- ・常に相手と気を合わせて結びを作ろうとすることは、相手との関係作りの心構えになります。
- ・一度に複数を相手することが前提ですので、常に周りに気配りすることが習慣になります。

「生き延びる」というとなんか大げさな気がしますが、今の世の中そうは言っていられませんか。

合気道を稽古しているんなリスクに備えませんか。

編集後記

1都3県での緊急事態宣言の解除がされましたが、その直後からの感染者の増加という事態を見るにつけ、これまでの我慢の反動が出ていると思われれます。しかし、感染すると自分だけでなく、自分の周りの大切な人達にも被害が及ぶと思えば、もう少し辛抱できないものかと思えます。合気道の方々も日頃、武道の修行を行っていらっしゃるのだから辛抱強いので辛抱強いと思います。稽古再開まで、お互い頑張っていきましょう。